

SSKO 社会福祉法人 はらからの家福社会

われら同胞

NO. 32



ピア国分寺 ゴーヤカーテン

☆☆☆ 目次 ☆☆☆

- 2 p 巻頭言
- 3 p 知的障害者雇用座談会セミナー
実習生感想リレー
- 4 p～5 p はらからの家福社会 財産目録
- 6 p 賛助会コーナー

『国民病』に精神病が参入するという新たな局面

「5疾病、5事業」対策」時代の到来と地域生活支援活動の活性化

総合施設長 伊澤雄一

『国民病』という言葉はあまりなじみのないものかもしれませんが、国は、癌・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病の「4疾病」を『国民病』(社会を挙げて取り組むべき疾病という意味)とみなし、救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療という「5事業(疾病対策)」を地域での医療を推し進める必須事項として都道府県の医療計画に盛り込みながら実施してきました。そして厚生労働省社会保障審議会医療部会(7月6日)において、精神病を医療計画に記載すべき疾病に追加することが正式に合意され、これにより、地域医療の必須要素は、「5疾病、5事業」としていくことになりました。

医療計画においては、①患者数が多く、死亡率が高いなど緊急性が高い②医療機関の機能に応じた対応が必要③病院・診療所・在宅の連携に重点を置くという3点を柱と

し、広範で継続的な医療を提供し、国民の健康を保持することを唱えています。精神病に関しては、2008年の調査で患者数が323万人と、癌の152万人の2倍を超え、現行4疾病で最も多い糖尿病の237万人をも大きく上回り、国民37人にひとりという高い発症率を示しています。特に近年は、職場におけるうつ病、高齢化による認知症の増加など、国民に広く関わる疾病という様相です。さらに、年間3万人に上る自殺者の9割が、何らかの精神病を患っていた可能性もあり、その影響や緊急度の高さも今回の対応に繋がったと見ることができます。そしてまた、この間の精神病発症率の急上昇、その状況を鑑みれば、もっと早い対応が必要ではなかったかと思えます。

ともあれ厚生労働省は、再来年(2013年度)からの医療計画に精神病を含む5疾病対策として反映す

べく、必要な医療機能や医療機関の分担・連携の推進方を、今年度中に策定する指針にも盛り込むという大きな転換をはかることとなりました。医療を提供していく観点から、地域の精神科をはじめとする病院、診療所、訪問看護ステーションなどが、個々の機能に応じた連携を推進することが求められています。また同時に、医療計画は地域医療、在宅療養のあり方を示していくものなので、おのずと在宅(生活の場)における生活支援、福祉サポートとの連携、連動も大きな課題です。現在地域生活の支援の要素をもとに編纂されている各市町村の「障害者計画」との整合が強く求められることでしょう。

したがって障害者計画の実施の一翼を担い、精神障害者の地域生活支援を推進する当会のような団体も、この情勢の大きな転換を視野に入れながら、今後の状況に即した運

営環境(体制や物理条件)の拡充を推し進めていく必要があります。実際現場感覚としても、新しい方々がどんどん当会事業に参加してきている現状から見ても、支援体制の拡充を早期に果たさなければならぬという切迫した思いが募ります。

次年度予定されている当会2つの共同作業所の新たな事業体系化(現「障害者自立支援法」に沿った事業変更)や、地域生活支援センターの機能拡充実践の場の適正なる環境整備などの課題を達成し、新たな状況に向き合いたいと強く思う今日この頃です。



知的障害者雇用セミナー座談会にて

居住支援部長 松岡 伸吾

就労支援の2つの機能—ジョブコーチと呼ばれるスタッフが障害者と事業者の間を取り持ち、障害者の個々の職能と事業者のニーズをマッチングさせること。そして、就労後も継続的に勤め続けることができるように支援をしていくこと—を広く知ってもらう場として8月27日に国分寺労政開会館にてセミナーが開催されました。3回目を迎える今回は、はらからで清掃業務を続けられているW氏にスポットを当てたセミナーとなりました。ピア国分寺の館内清掃を平成20年12月からお任せしているW氏の実践報告をお願いされて、グループホーム職員松岡、大井2名で参加して参りました。座談会には市の商工会の方や福祉施設職員、障害者の親御さん等多種多様な方々が参加され、事業主側からは障害者どどのようにコミュニケーションを取ったらいかが分からない。どこまでサポートしてくれるのか。制度自体を知る機会がない等、制度利用をするにあたっての率直な質問が投げかけられ、主催者の就労支援センターからはDVDや実際のW氏の働きぶりを撮影したビデオ等を通じて事業の内容、実践を分かりやすく解説されていました。セミナーの後半は実際に制度を利用してはらから職員が日々感じていることを伝えていく場面となりました。W氏を雇用するようになった経過や2年半継続できた理由、仕事を任せるにあたり苦労した事等、具体的なエピソードから参加した方々に就労支援の実際をイメージできるように話をしてきました。全体を通してまだまだ制度やジョブコーチの認知度が低く敷居が高いこと、障害者に対するネガティブなイメージとサポートをどこまでしてもらえるかが分からないこと等から最初の選択肢に成り難いことが課題として見えてきました。今後の事業展開に活かされていくことを切に願います。

実習生 感想リレー

6月にはらからの家福社会で実習させていただきました中野めぐみです。はらからの家福社会での実習では利用されている方と話す機会が多く設けられ、また様々な作業やプログラムに参加させていただきました。何をやるにも新しいことばかりで今思えば戸惑ってしまうことが多かったと思います。しかしそんな時にすぐに利用されている方が声をかけて教えて下さったからこそ私は実習を終えることが出来たと思っています。

実習期間中は利用されている方や職員の方々と様々なことを話し同じ時間を過ごせたことが嬉しく、また学びが多く充実した日々が過ごせました。ここでの学びや感じたことはこれからの自分自身の様々なことに多く関わってくると考えています。学んだことや感じたことを忘れずにこれから過ごしたいと思います。本当にありがとうございました。

日本社会事業大学 中野 めぐみ

はらからの家福社会での実習では、作業所、グループホーム、地域活動支援センターで、利用者の方々とお話をさせて頂いたり、作業に参加させて頂きました。皆さまにはとても親切にして頂き、たくさんのお話を教えて頂いた事を心から感謝いたしております。

実習の中で、はらからの家福社会には様々な居場所があり、その中で利用者の方々が協力し、助け合いながら地域で生活している事、その素晴らしさを実感する事が出来ました。様々な活動を通して、関わり合える場所があり、日々の時間を共有する中で、何かあれば相談したり、助け合える仲間とはらからの家の職員さん達がいる事は、生活をして行く中でとても重要な事であると感じました。

また、振り返りの場面では、職員の方々に実習で感じた事をお話する中で、自分自身の課題や、今後の目標を見出すことが出来た実習となりました。

この実習の経験を生かし、今後も多くの方が地域でその人らしい生活を送る事が出来るような、福祉のお仕事に携わって行きたいと考えております。本当にありがとうございました。

日本社会事業大学 大関 万菜

社会福祉法人はらからの家福社会

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

I 資産の部 No.1

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額
1.社会福祉事業 (流動資産)		
現金預金	小口現金	98,571
	多摩信金/国分寺支店 普通	35,509,786
前払金	未経過分賠償責任保険料他	317,655
未収金	差額補助金他	9,292,094
流 動 資 産 合 計		45,218,106
(固定資産) 【基本財産】		
建 物	東京都国分寺市南町三丁目2762番地40及び2762番地41所在 鉄筋コンクリート造陸屋根地上3階建 323.40㎡	60,822,657
土 地	東京都国分寺市南町三丁目2762番地40 宅地 104.85㎡	47,182,500
	東京都国分寺市南町三丁目2762番地41 宅地 53.59㎡	13,129,550
基 本 財 産 合 計		121,134,707
(その他の固定資産)		
建 物	保管倉庫・自動火災報知機	1,181,392
構 築 物	舗 装	506,297
車 輛 運 搬 具	トヨタ シエンタ	335,009
器 具 及 び 備 品	冷蔵庫・テレビ・パソコン他	1,263,266
権 利	電話加入権	394,700
そ の 他 の 積 立 預 金	長期預り金特定預金	2,935,000
そ の 他 固 定 資 産	出資証券 多摩信用金庫 共済会退職金預け金	5,960,740
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計		12,576,404
固 定 資 産 合 計		133,711,111
社 会 福 祉 事 業 用 資 産 合 計		178,929,217

I 資産の部 No.2

科 目	摘 要	金 額
2.公益事業(作業所) (流動資産)		
現金預金	小口現金	91,664
	多摩信金/国分寺支店 普通	3,989,411
未収金	3月分職員出向料金	288,954
前払金	未経過分自動車保険料他	231,151
流 動 資 産 合 計		4,601,180
固定資産 (その他固定資産)		
建 物	保管倉庫他	30,148
機 械 及 び 装 置	スチームコンベクション他	296,915
車 輛 運 搬 具	スズキエブリー・スバルサンバ他	52,465
器 具 及 び 備 品	冷蔵庫・パソコン他	742,731
権 利	電話加入権	236,820
そ の 他 固 定 資 産	共済会退職金預け金	5,420,050
そ の 他 固 定 資 産 合 計		6,779,129
固 定 資 産 合 計		6,779,129
公 益 事 業 (作 業 所) 用 資 産 合 計		11,380,309

3.公益事業(退院促進・ショートステイ) (流動資産)		
現金預金	多摩信金/国分寺支店 普通	67,361
未収金	事業費収入	256,760
流 動 資 産 合 計		324,121
公 益 事 業 用 資 産 合 計		324,121

4. 収益事業(放置自転車撤去)		
(流動資産)		
現金預金	多摩信金/国分寺支店 普通	933,251
未収金	放置自転車撤去委託料収入	480,000
前払金	未経過分総合賠償責任保険料	4,239
流動資産合計		1,417,490
固定資産		
(その他固定資産)		
車輛運搬具	小型貨物車ダイナ	1,235,748
その他固定資産	駐車場保証金	50,000
その他固定資産合計		1,285,748
固定資産合計		1,285,748
収益事業用資産合計		2,703,238
資産合計		193,336,885

II 負債の部

科目	摘要	金額
1. 社会福祉事業		
(流動負債)		
未払金	3月分社会保険料他	329,804
賞与引当金	賞与引当金	2,835,390
流動負債合計		3,165,194
(固定負債)		
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構	6,580,000
	多摩信用金庫	9,600,000
退職給与引当金	退職給与引当金	3,707,790
長期預り金	利用者敷金	2,935,000
固定負債合計		22,822,790
社会福祉事業用負債合計		25,987,984
2. 公益事業(作業所)		
(流動負債)		
未払金	3月分社会保険料・利用者交通費返還分	1,730,940
預り金	3月分源泉所得税	25,695
賞与引当金	賞与引当金	2,074,400
流動負債合計		3,831,035

(固定負債)		
退職給与引当金	退職給与引当金	2,397,550
固定負債合計		2,397,550
公益事業(作業所)用負債合計		6,228,585
3. 公益事業(退院促進・ショートステイ)		
(流動負債)		
未払金	3月分社会保険料他	62,440
賞与引当金	賞与引当金	388,609
流動負債合計		451,049
公益事業(退院促進)用負債合計		451,049
収益事業用負債合計		0
負債合計		32,667,618

差引純資産		160,669,267
--------------	--	--------------------

上記は財産目録の原本と相違ないことを証する。

社会福祉法人はらからの家福祉会
理事長 須長 靖夫

はらからの家福社会賛助会コトナ

はらからの家福社会賛助会は、社会福祉法人はらからの家福社会の運営の維持・発展のために支援・協力することを目的として、主に財政的支援・協力の活動を行っています。

当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2千円からで何口でも可能です。会員の皆様には「われら同胞(本誌)」を送付しているほか、年に一度懇談会を開催し、会計報告・活動報告を行っています。皆様の会費は毎年取りまとめてはらからの家福社会に寄付させていただきます。

入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込ください(同封の振込用紙も使えます。)

郵便振替口座番号

00180-8-130179

加入者名：はらからの家福社会賛助会

会費を納入いただいた方の名前を本誌に掲載させていただきます。匿名希望の方はその旨通信欄にお書きください。



<平成23年度4月から7月の間に賛助会費をご納入頂いた皆様(順不同 敬称略)>

阿部 敏子 猪俣 敦子 奥澤 佳子 尾澤 脩 熊谷 寿子 坂田 晴弘 谷崎 浩伸 中嶋 實
中田 有智子 野崎 多美子 松田 昌幸 森野 米子 山崎 米子 藤田 英親 山田 正則
野々瀬 悟子 吉祥寺病院 にしの木クリニック 肉のクボタ フレッシュショップコサカ
興洋エステート レタスの会 匿名 1名



はらからの家福社会賛助会懇談会開催変更のお知らせ

賛助会懇談会開催を10月理事会時に予定しておりましたが、理事会開催(9月16日)変更に伴い、12月理事会時へと変更させていただきます。

変更開催日 12月17日(土) 14時半~15時半

土曜日の午後、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご出席のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

はらからの家福社会賛助会 代表 窪田 恭

【編集人】社会福祉法人はらからの家福社会

〒185-0021 東京都国分寺市南町 3-4-4

TEL 042-323-5637

【発行人】身体障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

【定価】¥120